

交換学生交流事業



韓国・楊州市交換留学生7名が来藤！



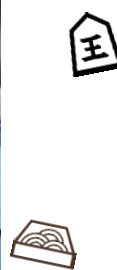
7月19日（木）～26日（木）に姉妹都市である楊州市から7名の交換留学生（高校生）が来藤されました。短い期間でしたが、友好協会のプログラムやホームステイの体験を通して日本文化や藤枝について学びました。初日の対面式では皆さん少し緊張されていた様子でしたが、帰国する頃にはすっかり日本の学生・家族と仲良くなったようです。このように、今後も楊州市と藤枝市の友好の輪が広がってほしいと思います。



抹茶体験



そば打ち体験



藤枝明誠高校
学生との交流



久能山東照宮



部活動体験



久能山東照宮にて記念撮影📷

藤枝滞在スケジュール

- 19日 対面式
- 20日 柏屋・玉露の里（抹茶体験）
副市長表敬訪問 郷土博物館
- 21日 ホストファミリーと過ごす
- 22日 ホストファミリーと過ごす
- 23日 明治製菓（工場見学）
藤枝明誠高校学校訪問
- 24日 大久保キャンプ場（そば打ち体験）
スポーツ・パル高根の郷
（ビームライフル体験）
- 25日 久能山東照宮・清見寺 お別れ会
- 26日 議会表敬訪問 帰国



[藤枝市国際友好協会事務局] AM9:00 - PM4:00

☎ 426-0034 藤枝市駅前2-1-5
☎ 054-270-3232
✉ fifs1984@cup.ocn.ne.jp

文化センター2F
☎ 054-646-3330
🌐 <https://fifsinfo.jimdo.com/>



派遣学生による
報告を紹介します

ヤンジュ

藤枝市交換留学生 in 楊州！



2018/8/2-8/9

<韓国に行って気づいたこと>

宇都木 恒太

私が韓国に行って気づいたことは日本との関係の深さです。ハングルは見ただけではただの記号のように思われます。しかし、発音の多くは日本語と同じように中国語から来ているため似ている点に親近感を抱きました。また、韓国は冷たい国だと思っていましたが、実際に行ってみると日本に興味を持っている人が多く、家族の人たちも優しく接してくれました。外交問題を解決するためには、個人間の信頼関係を構築していくことが大事だと思いました。

<経験を通して>

高橋 陸人

私は、この留学で今まで以上に外国に興味を持ちました。最初はホストファミリーがどんな人たちなのか、現地での生活への不安でいっぱいでした。しかし、不安はすぐになくなり、楽しい時間を過ごすことができました。楊州で驚いたことがあります。それは、街を歩いている時に会った学生達が「こんばんは」「よろしくお願ひします」などあいさつをしてくれたことです。日本語で積極的に話しかけてくれることに感動しました。自分ももっと積極的になります。

<国際交流の楽しさ>

津村 優希

私は、この留学を通して国際交流の楽しさをより一層実感しました。言語に不安を持ちながら渡韓しましたが、家族は笑顔で出迎えてくださり、初めから翻訳に頼るのではなく英語や韓国語で手振りを使ってたくさん話してくれました。そのおかげで、すぐになじむことができ、家族と様々な場所で充実した思い出を作ることができました。今後は国際交流をする際には自分の思いを自らの語彙で伝えようとする姿勢を大切にしたいと思いました。

<食の不思議>

八木 菜千花

今回韓国で感じた異文化がたくさんあります。特に、食に関して初めての経験がたくさんありました。マナーにおいて日本とは真逆な事があり戸惑いました。また、ほとんど毎日のように夜食があり、食べる量や時間に驚くことばかりでした。それにもかかわらず、韓国人は、健康的で肌もきれいで不思議に思い、食文化の違いがとても気になりました。旅行とは違い、ホームステイでは学ぶことが沢山あり、とても良い経験をさせて頂きました。

<感じたこと>

鷺野 春香

私は、この交換留学で韓国の伝統文化を学ぶことは勿論ですが、一番学んだことは人とのコミュニケーションだと思いました。私は、韓国語が少ししか話せず、初めは通訳機ばかりに頼ってしまいました。しかし、一緒に過ごしていくうちに皆との壁が無くなり、自分から少しずつ英語を使いながら話せるようになりました。私はこの交換留学で改めて人とかがかわることが好きだと感じました。この経験が少しでも将来に活かせたらいいと思いました。

<交換留学で学んだこと>

岡村 百華

今回の交換留学で学んだことが二つあります。一つ目は、韓国での文化や歴史です。韓国人はとてもフレンドリーで日本人にはない良さがありました。景福宮の博物館では、三国時代の韓国について新たに多くのことを知ることができました。二つ目は、言葉が通じないことの大変さです。一週間日本語と離れた生活をするのはとても新鮮で、また自分の気持ちを伝えられないもどかしさも感じました。今回の体験はとても良い経験になりました。

<言葉の大切さ>

松村 萌々子

私は、今回楊州市のとの交換学生事業で改めて言葉の大切さ、理解しようとすることの大切さを学びました。英語もうまく通じないという環境だったので、苦しいと感じるときもありました。しかし、簡単な韓国語を少し使い、相手が話している時には目を見て理解しようと努力することで、コミュニケーションの輪はとても大きく広がりました。韓国に行って、様々な体験をさせて頂いて、私は大きく成長することができました。

